

保護者による学校評価集計 (R6後期)

108 / 126 = 85.7%

	評 価 の 観 点	A	B	C	D	E	計	(A+B)/ 計 ※Eを除く		R6前期 (A+B)/計
1	学校は、教育方針や教育活動の様子を分かりやすく伝えている。	61	42	1	0	4	108	99%		100%
2	学校は、読み書き計算など基礎基本の定着に取り組んでいる。	57	46	2	0	3	108	98%		100%
3	子どもたちは、学習やその他の活動に意欲的に取り組んでいる。	52	52	3	0	1	108	97%		97%
4	学校は、不審者対応や交通安全指導など安全管理への対応をとっている。	53	44	3	2	6	108	95%	↓	99%
5	学校は、子どもの体力向上に取り組んでいる。	50	54	0	0	4	108	100%		99%
6	学校は、いじめなどの問題に適切に指導・対応している。	45	53	3	0	7	108	97%	↑	94%
7	学校は、思いやり豊かな心を育む活動や教育を行っている。	50	53	1	0	4	108	99%		99%
8	学校は、本をたくさん読むように読書指導を行っている。	58	45	1	0	4	108	99%	↑	94%
9	学校は、食育や歯磨きなど健康について具体的な指導を行っている。	43	51	6	1	7	108	93%	↓	97%
10	学校は、地域の自然・人材・文化などを調べたり体験したりする学習活動を行っている。 (ふるさと七尾SDG s 教育を推進している)	49	49	2	0	8	108	98%	↑	95%
11	家庭では、お子様との間でルールを決めている。 (家庭学習 テレビ インターネット ゲーム その他)	19	58	26	5	0	108	71%	↑	66%
12	家庭では、規則正しい生活が送れるよう子どもに声かけをしている。	29	69	10	0	0	108	91%		90%
13	家庭では、家族同士のあいさつを心掛けている。	49	55	4	0	0	108	96%		95%

A. できている

B. たいしてできている

C. あまりできていない

D. できていない

E. 分からない

R6前期と比較し

・ 3 P 上昇 ↑

・ 3 P 下降 ↓

分析および今後の取り組み

・設問全体を通して、前期と比べてE評価が大幅に減っている。学校だよりや学年だよりなどのお知らせが、学校での取り組みを保護者に伝える手段として有効にはたらいたと考えらえる。

設問 6
前期と比較し肯定的評価が 3 ポイント上昇している。早期対応，チーム対応，丁寧な事後連絡などを今後も継続していきたい。

設問 8
前期と比較し，肯定的評価が 5 ポイント上昇した。読書に関わるイベントの定期的な開催や図書便りの発行，親しみやすい図書室づくりなどが児童の読書に結び付き，保護者の評価につながったのではないかと考えられる。前期にはD回答があり「必要以上の本を読む気がないようです」との回答もあったが改善したことから，「家庭での読書の姿」が見られるようになったのではないかと。

設問 4 設問 6 設問 9 設問 1 0
これらの設問は「E：わからない」の回答の割合が 5 %を超えている。学校においてどのような指導をしているのか保護者には分かりにくいため評価しにくいと思われる。

設問 1 1 設問 1 2
家庭内のルールに関してA評価回答が他の設問に比べて少ない。設問 1 1 はA評価が全設問の中で最も少なく，設問 1 2 は次に少ない。家庭でルールを設けることや守ることの重要性について発信し啓発する必要があると考える。